

◎教庁改編のビジョン

「元に立ち返り、陽気ぐらしへ向けて再出発」

教庁はこれまで世界たすけに向けての教団の推進役を果たしてきたが、近年は社会の変化による諸問題（少子高齢化や価値観の変化など）や、本部が抱える諸問題（機構、財務、人に関する事など）が合図立て合ってきたことから、抜本的な組織の見直しが必要となってきた。

そこでまず教庁の理念や使命、役割を改めて確認し、それに基づいた組織と業務の見直しを行うとともに、現状に合わせたスリム化と効率化を進め、持続可能な教庁体制を構築していきたい。また元よりおぢばでつとめる者が「成程感心な人」といわれるような成人ができるよう、教化育成にも積極的に取り組む。

この度の教庁改編はかつてない規模で根本的な立て直しを行うことになる。そこで私たちはこれを大きなふしと捉え、強い決意で臨んで陽気ぐらしへ向かう再出発の機会としたい。

- 旬々のお言葉に基づいて活動の方針を検討し、教内に示していくための会議体（たすけ委員会に該当するようなもの）を常話の中に常設
 - ・本部、直属教会、教区の連携を強化
 - ・道の将来を担う人材育成
- 人事、教化育成体制を再構築し、ぢばへ伏せ込む在籍者、勤務者、ひのきしん者の更なる成人を目指す
- 業務を整理し、帰参者受け入れ体制、本部施設管理体制を現状に即したものに
 - ・業務委託の検討
 - ・教庁が所管する機関の業務見直し※信者話所の諸問題については本部と直属教会で連携を取りながら別途検討を進めていく
- 教庁を乾隅棟へ移転し、点在する部署を集約することで維持管理コストを削減
- 財務体制の構築
 - ・予算編成体制の見直し
 - ・中長期の視点を持った財務運営
- デジタル化の推進や手続きの簡略化により、利便性や即応性を向上

○宗教法人 天理教の「理念」

親神天理王命の思召す世界一れつ陽気ぐらしの実現

○宗教法人天理教の「使命、役割」

陽気ぐらし実現に向けた指針を明確化し、世界たすけを推進していく → ①

・ 包括する教会や教区に対して指針を与え、その活動を支援していく → ②

・ 陽気ぐらしの雛型となるおやさとを具現化していく → ③

・ 教団の事務、手続き業務ならびに必要なと思われる事業を行う → ①・④

①総務・事務に関する部門・・・・・・・・表統領室、総務部

②たすけ推進（布教）に関する部門・・・・・・・・布教推進部、国際部、広報部

③親里整備、帰参者受け入れに関する部門・・信者部、営繕部

④計理（財務）に関する部門・・・・・・・・経理部、管財部

立教190年4月(移転時) 教庁部署一覽

